



生育状況等		
山形	<p>・7月18日現在の平垣部「はえぬき」は、葉数はやや多く、草丈・葉数・葉色ともに平年並みとなり、良好な稲姿になっている。出穂期は、「あきたこまち」が平年より2日程度早く、「はえぬき」、「つや姫」が3日程度早く、「コシヒカリ」は、2日程度早まる予想。(山形の米日本一推進本部 7月18日現在)</p> <p>(庄内) 葉数が平年比123~134%と多く、草丈は短く、葉色は淡くなっている。平垣部ですでに10項目が開花中で、平年よりも生育が3日程度進んでいる。「つや姫」の生育は、草丈は並、葉数は指標より多く、葉数は指標並で、葉色は順調に低下している状態にある。直播栽培(カルバーコーティング) 出芽・節立ちは概ね良好。葉数が過剰気味のほ場も多くなっている。 (鉄コーティング) 葉数から見た生育は昨年と比較すると5日程度進んでいる。 (庄内総合支庁 6月30日現在)</p> <p>(北村山) 北村山平垣部の予想出穂期は、あきたこまち8月3~5日、ひとめぼれ8月6~8日、はえぬき8月8~10日、つや姫8月11~14日、つや姫8月10日頃。幼穂の生育が平年並みより、3日早く出穂すると予想される。 (庄内総合支庁北村山農業技術普及課 7月23日付)</p> <p>(東南村山) 草丈がやや短く、葉数はやや多く、葉色は平年並みとなっている。出穂予想(平垣部)は、はえぬき8月3日~6日、つや姫8月10日頃。幼穂の生育が平年並みより、3日早く出穂すると予想される。 (村山地域本部村山農業技術普及課 7月18日現在)</p> <p>(南郷) 「草丈・平年並み」、「葉数・多い」、「葉数・平年より3日程度早い」、「葉色・平年並み」の状況。出穂期は3日程度早い予想。 (山形の米日本一推進運動推進地域本部 7月18日現在)</p> <p>(最上) 生育診断は「はえぬき、ひとめぼれ」の生育は、草丈が短く、葉数は指標より多く、葉色が濃く推察しており、出穂期は平年よりやや早まる見込み。しかし、依りて、平垣部の生育は遅い。出穂予想は、「はえぬき(平垣)」は8月6日(平年-2)、「つや姫(平垣)」は8月9日(平年-3)、「あきたこまち(中山間)」は8月4日(平年+0)。 (最上総合支庁 7月18日現在)</p> <p>(酒田) 生育診断は「はえぬき、ひとめぼれ」の生育は、草丈は短く、葉数は概ね確保され、葉数が平年と比べ1葉近く進んでいる。葉色はやや濃い状況。今年は葉数の展開スピードが平年より3~5日程度早く、例年よりも播種期使用時期が早まる予想。早生~中生品種の今年の出穂は平年より3~5日早まると予測。つや姫の出穂は3日程度早まる予想。草丈は平年並み~やや短く、葉数の展開は早い、葉数は平年並み~やや多い、葉色は平年並み~やや濃い。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月30日現在)</p> <p>(大南地域) 7月9日の大雨により、置賜地区・村山地区を中心として水稲などの冠水・浸水がみられたが、村山地区・最上地区では大半が既に排水されている。一方、置賜地区では南陽市赤湯地区の白竜湖周辺で水稲の冠水・浸水が継続しており、生育への影響が懸念される。(山形県 7月11日15時現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の一部地域では、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病及びイネ紋枯病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・注意報第2号 斑点米カメムシ類の発生が県下全域でやや多い(山形県病害虫防除所 7月24日付)</li> <li>・村山管内の本田で、粟いもちの発生が確認されている。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月23日付)</li> </ul>
福島	<p>(生育) 農業総合センターの生育調査では、草丈が平年並、葉数が郡山と全線で平年並から多く、相馬で平年より少なくなっている。また、幼穂形成時期は平年並から4日早まっている。(福島県農林水産部 7月15日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の一部地域では、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病及びイネ紋枯病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・粟いもちの発生拡大が懸念されている。(福島県病害虫防除所 7月16日公表)</li> <li>・斑点米カメムシ類が平年より多く確認されている。(福島県病害虫防除所 6月30日付)</li> </ul>
茨城	<p>(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の出穂期は7月15日で平年より1日早かった。「コシヒカリ」の出穂期は、幼穂長からみて平年より2日早く予測される。商品種とも、播種・葉数・葉色は平年並である。 5月9日に移植した「コシヒカリ」出穂期は、幼穂長からみて平年より6日早く予測される。草丈・葉数・葉色は平年並である。(7月18日現在)</p> <p>(鉅野・碓氷) 4月28日に移植した「あきたこまち」の出穂期は7月9日であり、平年より4日早い。幼穂の生育程度から予測される「コシヒカリ」の出穂期は7月26日であり、平年並である。商品種とも、平年に比べ草丈は平年並、葉数は平年並、葉色は「あきたこまち」が並、「コシヒカリ」が濃い。 5月7日に移植した「あきたこまち」は、幼穂の生育程度から予測される出穂期は7月18日であり平年より2日早く、「コシヒカリ」は7月20日であり平年より1日早く、商品種とも、平年に比べ草丈は並、葉数は並~やや少なく、葉色は「あきたこまち」が並、「コシヒカリ」が濃い。(7月22日現在) (県農業総合センター農業研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東の一部地域では、イネ縞葉枯病及び斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月22日公表)</li> <li>・注意報第2号 斑点米カメムシ類の発生が県下全域で多い(茨城県病害虫防除所 7月22日公表)</li> <li>・7月上旬現在、すくい取り調査数は平年よりやや多い(茨城県病害虫防除所 7月22日公表)</li> </ul>
栃木	<p>(生育) ・早期栽培(コシヒカリ)の全体の生育(16ヶ所平均)は、草丈はやや低く(平年比98%)、葉数は平年並(100%)、葉色は0.1濃いことから、生育診断値(葉色×葉数)は平年比98%とやや小さい。葉齢が平年並、幼穂長は10.4cmで平年より4.1cm長く、幼穂長から予測すると出穂期は7月26日で、平年(8月3日)より8日早い。早稲コシヒカリ(5月4日移植)の出穂期は、宇都宮市で7月28~29日頃で平年より4日程度早く、大田原市では7月1日~2日で平年より5日程度早く1日程度早まる見込み。 4月28日に移植した「あきたこまち」は、幼穂の生育程度から予測される出穂期は7月18日であり平年より2日早く、「コシヒカリ」は7月20日であり平年より1日早く、商品種とも、平年に比べ草丈は並、葉数は並~やや少なく、葉色は「あきたこまち」が並、「コシヒカリ」が濃い。(7月22日現在) ・普通栽培(あきたの夢) 3ヶ所平均は、草丈は51.7cmで平年比86%と低く、葉数は431本/m<sup>2</sup>で平年比89%と少ない。葉齢は10.3で平年より0.1ほど多く、葉色は1.4で平年より0.1濃い。生育診断値(葉色×葉数)は7.002で平年比89%と小さい。(栃木県農政課 7月18日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東の一部地域では、イネ縞葉枯病及び斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・7月下旬~8月上旬の斑点米カメムシ類の発生量は平年より多い予想。(栃木県農業技術指導センター 7月18日公表)</li> </ul>
埼玉	<p>(生育) ・早期、早稲栽培の生育は、6月上旬の暑期により一時停滞気味であったが、その後回復し、草丈、葉数は概ね平年並みで、高温により幼穂分化はやや早まっている。早期栽培の中干しも概ね順調に行われた。今後の生育は概ね順調に推移すると思われるが、向こう1か月は高温、蒸発の可能性が高いことから、軟弱気味の生育となり、中干しが遅れたり不十分な場合は、倒伏の発生や弱小茎の増加が懸念される。出穂期は葉位の進展が進んでいることから、平年並から3日程度早まる予想される。普通栽培は、苗はやや軟弱気味であったが、活着は良好で、初期生育も順調。今後の生育は概ね順調に推移すると思われるが、早期、早稲栽培同様、中干しが遅れたり、不十分な場合は倒伏の発生や弱小茎の増加が懸念される。(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 7月6日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東の一部地域では、イネ縞葉枯病及び斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・イネアオムシ第3世代成虫発生機軸日数は8月2日で平年より17日早い(埼玉県病害虫防除所 7月29日付)</li> </ul>
千葉	<p>(生育) ・全体的に生育の進みは早く、出穂期は、早生・中生品種は2~3日程度、また、晩生品種は3~5日程度早くなった。出穂期は「ふるさと」が9月12日頃から、「ふさこがね」が9月18日頃から、「コシヒカリ」が9月21日頃からと予測される。(千葉県農林水産部 7月29日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東の一部地域では、イネ縞葉枯病及び斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予報。イネいもち病の発生は「やや多い」と予報。南関東の一部地域では、ヒメトビウンカ及びイネ紋枯病の発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> </ul>



		生育状況等
滋賀	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は、「コンヒカリ」、「秋の詩」とも平年より長かった。</li> <li>・葉数は、「コンヒカリ」は平年より多く、「秋の詩」は平年よりかなり多かった。「秋の詩」は平年比127%で、過去10年で最も多くなっている。</li> <li>・葉数は、「コンヒカリ」は平年より0.5枚多く、「秋の詩」は平年より0.2枚多かった。</li> <li>・葉色は、「コンヒカリ」、「秋の詩」とも平年並。</li> <li>・「コンヒカリ」の幼穂形成期は、平年より少し早い。7月4日に幼穂長1mmが確認され、平年(7月5日)より1日早く幼穂形成期を迎えている。ただし、気温の変動が大きく、移植時期等により、生育の遅延は異なっている。</li> <li>・「秋の詩」は、最高分け時期を迎えているが、平年に比べ、生育は旺盛。</li> <li>・「みずかみ」(新品種)は、4月下旬から5月上旬移植では、出穂期のピークは7月20日前後になる見込み。5月中旬移植では、7月1日〜7日に幼穂形成期を迎えており、出穂期のピークは7月26日前後になる見込み(滋賀県農業技術センター 6月30日現在)</li> </ul>
兵庫	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(東北)葉数、葉数ともに平年を上回っている。特に葉数はかなり多くなっている。</li> <li>(県南)葉数は平年を上回っている。葉数は平年並み〜やや少ない。(兵庫県農林環境部長 7月3日付)</li> </ul>
岡山		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の一部地域では、斑点米カメシムの発生は「多い」と予報。</li> <li>・イネいもち病、イネ緑葉枯病及びヒメトビウンカの発生が「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・注意報第2号</li> <li>・イネいもち病(寒いもち、穂いもち)の発生が県内全域で8月上旬以降多く発生する予報。(岡山県病害虫防除所 7月14日公表)</li> <li>・県中部での寒いもちの発生確率が平年より高くなっている。今後さらに広がる可能性がある(岡山県病害虫防除所 7月14日公表)</li> </ul>
広島		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の一部地域では、斑点米カメシムの発生は「多い」と予報。</li> <li>・イネいもち病、イネ緑葉枯病及びヒメトビウンカの発生が「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・注意報第2号</li> <li>・いもち病(寒いもち、穂いもち)が県南部、県中部及び県中西部で多く発生(広島県西部農業技術指導所 7月25日公表)</li> </ul>
山口	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月17日に萩市・阿武町で早期コンヒカリの出穂が確認された。(山口農林水産部 7月22日)</li> <li>・コンヒカリ、7月15日頃</li> <li>・5月中旬穂長は現はらみ期。草丈と葉数は平年並み。葉数はやや多い(24本/株)。</li> <li>・5月下旬穂長は、幼穂形成期〜伸長期。草丈と葉数は平年並み。葉数はやや多い(24本/株)。</li> <li>・きぬむすめ・セノヒカリ(6月上旬頃)</li> <li>・きぬむすめは幼穂形成期前頃。草丈と葉数は平年並み。葉数は平年並(31本/株)。</li> <li>・ヒノヒカリは最高分け頃頃。草丈はやや短く、葉数(19本/株)と葉数は平年並。</li> <li>・日照不足からやや軟弱な生育をしている。(山口県大津、長門農林事務所 7月22日)</li> </ul>
愛媛	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培のあきたこまちは6月下旬、コンヒカリは7月上旬、短期栽培のあきたこまちは7月中下旬頃が穂肥時期となる。穂肥の施用時期は、幼穂長の観察による生育診断等の適期予測が重要。(愛媛県農林水産部/農林水産研究所 7月4日公表)</li> </ul>
高知	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培の作柄は、6月下旬の低温・日照不足により出穂に遅れがみられるもの総じて全もみ数は平年並みないしやや多いと見込まれることから「平年並み」が見込まれる。(農林水産省 7月15日現在)</li> <li>・早期型 出穂期は、前年より(4月4日移植)は6月23日、早穂系コンヒカリ(4月4日移植)は7月5日、標準系コンヒカリ(4月4日移植)は7月7日、いずれの高穂、作柄とも平年より2〜3日遅れている。</li> <li>・普通型 普通型では、6月3日にヒノヒカリを移植した。移植後気温が低く推移したため、6月は生育進度(葉数)が遅く、葉数は少なく推移した。7月7日時点では、葉数は高次分け時の発生によって平年よりやや多いものの、草丈は平年よりやや短く、葉数(生育進捗)もやや遅れている。(高知県農業技術センター 7月9日時点)</li> </ul>
福岡	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月10日移植のまつくしでは、草丈は平年より5%低く、主穂葉数は平年より0.4葉少ないが、葉数は平年に比べ22%多い(降雨により由于しが不十分となった影響)。</li> <li>・6月20日移植のヒノヒカリでは、草丈は平年並〜13%高く、葉数は平年並〜17%少なく、主穂葉数は平年並〜0.7葉少ない。(福岡県農林業総合研修場 7月18日付)</li> </ul>
熊本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州の一部地域では、イネいもち病、イネ緑葉枯病、トビイロウンカ及び斑点米カメシムの発生は「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・県内の中山間地一部において寒いもちの発生が多い地区がある。(福岡県病害虫防除所 7月18日公表)</li> <li>・7月のセジロウンカの発生量は平年より少く前年並み。トビイロウンカの発生量は平年並で前年より少。(福岡県病害虫防除所 7月3日公表)</li> </ul>
宮崎	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培の作柄は、6月下旬の低温・日照不足により出穂に遅れがみられるもの総じて全もみ数は平年並みないしやや多いと見込まれることから「平年並み」が見込まれる。(農林水産省 7月15日現在)</li> <li>・南九州の一部地域では、ヒメトビウンカの発生が「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> <li>・向こう1か月の予報</li> <li>(普通型水稲)寒いもち、紋枯病、セジロウンカ、ヒメトビウンカは「平年並」</li> <li>トビイロウンカは「やや多」</li> <li>ツマグロヨコバイ、コブメノメイガは「やや少」</li> <li>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月25日公表)</li> </ul>
鹿児島	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培の作柄は、6月下旬の低温・日照不足により出穂に遅れがみられるもの総じて全もみ数は平年並みないしやや多いと見込まれることから「平年並み」が見込まれる。(農林水産省 7月15日現在)</li> <li>・南九州の一部地域では、ヒメトビウンカの発生が「やや多い」と予報。(農林水産省 7月24日公表)</li> </ul>

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標				収穫量(主食用) 25年産	作況指数 25年産
		平成26年産	前年産との比較	増減率	%		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏にエルニーニョ現象が発生する可能性はこれまでの予測より低くなった。秋に発生する可能性が高い。（気象庁 7月10日発表）</li> <li>7月26日～8月25日の1か月間は、北日本では気圧の谷の影響で、向こう1か月の日照時間は平年並か少なく、降水量は平年並が多い見込み。</li> <li>東・西日本太平洋側では、期間の初めは晴れる日が多いため、向こう1か月の日照時間は平年並が多い見込み。</li> <li>向こう1か月の気温は、全国的に平年並か高い見込み。（気象庁 7月24日発表）</li> <li>（8～10月の3か月間の見通し）</li> <li>8月の北日本は、前線や低気圧の影響で、降水量は平年並か平年より多い見込み。</li> <li>9月は全国的に暖かい空気に覆われやすく、気温は全国的に平年並か平年より高い見込み。</li> <li>北・東日本では、9月も暖かい空気に覆われやすく、気温は平年並か平年より高い見込み。</li> <li>10月は気温・降水量ともにほぼ平年並の予報。</li> <li>秋にエルニーニョ現象が発生する可能性が高くなっている。（気象庁 7月25日発表）</li> </ul>						
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。</li> <li>期間の前半は、気圧の谷の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。</li> <li>気温は、1週目は平年並か高く、2週目は平年並、3～4週目は平年並か高い見込み。（札幌管区気象台 7月24日発表）</li> </ul>	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105	
青 森	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。</li> <li>気圧の谷の影響で、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。</li> <li>期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は平年並の見込み。期間の後半は、数日の曇りで変わり、気温は平年並か高い見込み。（仙台管区気象台 7月24日発表）</li> </ul>	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月24日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月24日発表）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104	
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月24日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100	
山 形	同上（仙台管区気象台 7月24日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102	
福 島	同上（仙台管区気象台 7月24日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104	
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東甲信地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。</li> <li>太平洋高気圧に覆われ、1週目は平年に比べ晴れの日が多く、2週目は平年と同様に晴れの日が多い見込みだが、湿った気流の影響で雷雨のところがみられると予報。3～4週目は平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 7月24日発表）</li> </ul>	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104	
栃 木	同上（気象庁 7月24日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102	
埼 玉	同上（気象庁 7月24日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98	
千 葉	同上（気象庁 7月24日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104	
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間もほぼ平年並の見込み。</li> <li>1週目は気圧の谷や湿った気流の影響で平年に比べ晴れの日が少なく、気温は平年並の見込み。</li> <li>2～4週目は太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れる日が多く、気温は平年並か高い見込み。（新潟地方気象台 7月24日発表）</li> </ul>	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103	
富 山	同上（新潟地方気象台 7月24日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102	
石 川	同上（新潟地方気象台 7月24日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101	
福 井	同上（新潟地方気象台 7月24日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102	
長 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東甲信地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。</li> <li>太平洋高気圧に覆われ、1週目は平年に比べ晴れの日が多く、2週目は平年と同様に晴れの日が多い見込みだが、湿った気流の影響で雷雨のところがみられると予報。3～4週目は平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 7月24日発表）</li> </ul>	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	%	t	t	
滋賀	・近畿地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並か多い見込み。 太平洋高気圧に覆われて平年に比べ晴れの日が多い見込み。 2週目は上空の寒気や湿った気流の影響で雷雨の所がある見込み。 太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多くなるが、2週目は上空の寒気等の影響で雷雨の発生しやすい時期がある見込み。 気温は、1週目は平年並、2～4週目は平年並か高い見込み。 （大阪管区気象台 7月24日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 7月24日発表）					
岡山	・中国地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多くなるが、2週目は上空の寒気等の影響で雷雨の発生しやすい時期がある見込み。 気温は、1週目は平年並、2～4週目は平年並か高い見込み。 （広島地方気象台 7月24日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
広島	同上（広島地方気象台 7月24日発表）					
山口	・九州北部地方（山口県含む）の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込み。 1週目は、はじめは太平洋高気圧に覆われて曇れ晴れますが、中頃から湿った気流の影響で曇りが多くなり、その影響で気温は平年並か低い見込み。 2週目以降は、太平洋高気圧に覆われ平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並か高い見込み。 （福岡管区気象台 7月24日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
愛媛	・四国地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 気温は、1週目は平年並、2～4週目は平年並か高い見込み。 （高松地方気象台 7月24日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
高知	同上（高松地方気象台 7月24日発表）					
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込み。 1週目は、はじめは太平洋高気圧に覆われて曇れ晴れますが、中頃から湿った気流の影響で曇りが多くなり、その影響で気温は平年並か低い見込み。 2週目以降は、太平洋高気圧に覆われ平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並か高い見込み。 （福岡管区気象台 7月24日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
熊本	同上（福岡管区気象台 7月24日発表）					
宮崎	・九州南部地方の7月26日～8月25日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 太平洋高気圧に覆われ、平年に比べ晴れの日が多い見込み。 気温は、1週目は平年並、2～4週目は平年並か高い見込み。 （鹿児島地方気象台 7月24日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 7月24日発表）					
		189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
		94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
		111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

[平成26年産水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況\(7月15日現在\)\(農林水産省\)](#)

[平成26年産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)

[平成25年産水陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)

[「平成26年度 病害虫発生予報第5号」の発表について\(農林水産省 7月24日\)](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道 7月18日\)、農作物生育状況 7月15日現在\(北海道空知総合振興局 7月18日\)、](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道石狩振興局 7月18日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道後志総合振興局 7月18日\)、](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道胆振総合振興局 7月18日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道日高振興局 7月18日\)、](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道渡島総合振興局 7月18日\)、農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道檜山振興局 7月18日\)、](#)

[農作物の生育状況 7月15日現在\(北海道上川総合振興局 7月18日\)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在\(北海道留萌振興局 7月18日\)](#)

[農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在\(北海道オホーツク総合振興局 7月4日\)、病害虫発生予察情報第8号7月予報・第9号\(北海道病害虫防除所\)、](#)

[病害虫発生予察情報第11号注意報第5号\(北海道病害虫防除所\)、H26水稲作況\(7月20日現在\)\(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月23日\)、](#)

[稲作生産情報第6号\(7月15日現在\)\(青森県 7月22日\)、平成26年度病害虫発生予察情報注意報第1号、第2号\(青森県病害虫防除所 7月25日\)、](#)

[平成26年度水稲の生育状況\(7月10日現在速報\)\(中央農業改良普及センター 県域普及グループ 7月16日\)](#)

[平成26年度水稲生育定期調査結果No.6\(岩手県農業研究センター技術部作物研究所・県北農業研究所作物研究室 7月25日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予察情報第4号・注意報第3号\(岩手県病害虫防除所\)、平成26年度病害虫防除速報No.4 水稲編-2\(岩手県病害虫防除所\)、](#)

[平成26年産水稲の生育状況について\(7月18日現在\)、平成26年産水稲の出穂状況について\(7月24日現在\)\(宮城県農林水産部\)、](#)

[平成26年度産稲作技術情報\(第6号\)\(宮城県大河原農業改良普及センター 7月23日\)、平成26年度産稲作情報\(第5号\)\(宮城県亶理農業改良普及センター 7月25日\)、](#)

[仙台稲作情報第9号\(宮城県仙台農業改良普及センター 7月22日\)、](#)

[平成26年産産稲作技術情報第8号\(宮城県大崎農業改良普及センター 7月18日\)、平成26年産産美里地区の稲作情報第7号\(宮城県美里農業改良普及センター 7月22日\)、](#)

[栗原の稲作通信平成26年第6号\(宮城県栗原農業改良普及センター宮城県米づくり推進栗原地方本部 7月22日\)、](#)

[登米地域の稲作通信第7号\(宮城県登米農業改良普及センター 7月18日\)、稲作情報Vol.6\(石巻農業改良普及センター 7月22日\)、](#)

[稲作情報Vol.6\(本吉農業改良普及センター 7月22日\)、平成26年度発生予察情報発生予報第7号\(概要版\)\(宮城県病害虫防除所 7月23日\)、](#)

[平成26年度発生予察情報発生予報情報注意報第1号\(宮城県病害虫防除所 7月4日\)、](#)

[生育状況の情報\(秋田県ホームページ\)「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月25日\)、](#)

[平成26年度農作物病害虫発生予察情報発生予察情報注意報第3号、第4号\(秋田県病害虫防除所 7月28日\)、](#)

[平成26年度農作物病害虫発生予察情報注意報第2号\(秋田県病害虫防除所 平成26年7月10日\)、](#)

[米づくり技術情報No.4\(山形の米日本一推進運動本部 6月30日\)、つや姫だより第5号7月3日、おいしい米づくり情報第8号7月2日、直播稲作情報第4号7月3日\(庄内総合支庁\)](#)

[稲作だより第7号出穂期管理編、つや姫だより第8号\(村山地域本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月23日\)、](#)

[おいしい米づくり情報第6号出穂・水管理編\(村山地域本部・村山農業技術普及課 7月22日\)、](#)

[おきたま米づくり情報No.9\(山形の米日本一推進運動圏置地域本部 7月22日\)、稲作だより第10号病害虫防除編\(最上総合支庁農業技術普及課 7月22日\)、](#)

[酒田・飽海米づくり情報第7報\(酒田農業技術普及課 7月9日\)、酒田・飽海つや姫情報第6号\(庄内総合支庁 7月9日\)、](#)

[平成26年度農作物有害動物発生予察情報注意報\(山形県病害虫防除所 7月24日\)、平成26年度病害虫防除情報\(福島県病害虫防除所 7月16日\)、](#)

[主要な農作物の生育状況平成26年度第4号\(福島県農林水産部 7月25日\)、水稲の病害虫防除対策\(6月\)\(福島県病害虫防除所\)、](#)

[農研速報\(水稲の生育状況\)\(7月18日現在、水戸市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月22日\)、](#)

[農研速報\(水稲の生育状況\)\(7月22日現在、龍ヶ崎市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月22日\)、](#)

[病害虫速報No.5\(茨城県病害虫防除所\)、病害虫発生予察注意報第2号\(茨城県病害虫防除所 7月29日\)、](#)

[那珂川治水対策支部の解散について\(国土交通省関東地方整備局\)、](#)

[平成26年度水稲生育診断予測事業速報No.5\(早期栽培・普通植栽7月18日調査結果\)\(栃木県農政部 7月23日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予報第3号・第4号\(栃木県農業環境指導センター\)、平成26年度病害虫発生予察注意報第1号\(栃木県農業環境指導センター\)、](#)

[平成26年度水稲の生育概況Vol.2\(平成26年7月6日現在\)\(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所\)、](#)

[平成26年度イネアオムシ発育予測第3報\(埼玉県病害虫防除所 7月29日\)、水稲の生育状況と当面の対策第5報\(千葉県農林水産部 7月29日\)、](#)

[水稲の生育状況と今後の管理対策第7号\(新潟県農林水産部 7月25日\)、岩船米生育速報\(7月24日現在\)\(村上農業普及指導センター\)、](#)

[新発田地域水稲育成速報No.7\(7月24日調査\)\(新発田農業普及指導センター 7月24日\)、新潟稲作速報No.7\(新潟農業普及指導センター 7月24日\)、](#)

[水稲生育速報\(巻農業普及指導センター 7月24日\)、FAX稲作速報\(三条農業普及指導センター 7月24日\)、水稲生育速報\(長岡農業普及指導センター 7月24日\)、](#)

[7月10日現在の生育状況と今後の管理\(魚沼農業普及指導センター 7月15日\)、稲作情報\(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 7月14日\)、](#)

[稲作情報No.9\(南魚沼農業普及指導センター 7月24日\)、稲作情報No.4\(十日町版\)\(十日町地域農業振興協議会他\)、](#)

[稲作情報No.4\(津南町版\)\(十日町地域農業振興協議会他\)、稲作管理情報7\(柏崎農業普及指導センター 7月24日\)、](#)

[水稲生育速報・コンヒカリ\(7月24日\)\(上越農業普及指導センター、上越農林事務所 7月24日\)、平成26年度糸魚川売れる米づくり情報メルマガNo.6\(糸魚川農業普及指導センター\)](#)

[平成26年度 稲作生育速報 No.7\(佐渡農業普及指導センター 7月24日\)、平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第4号\(7月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所\)、](#)

[平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第5号\(7月後半の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所\)、TACS情報第9号・\(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月22日\)、](#)

[直播情報第6号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月18日\)、病害虫発生予報第4号・病害虫発生注意報第2号\(富山県農林水産総合技術センター\)](#)

[平成26年産水稲の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-9号\)\(石川県農林総合研究センター 7月28日\)、病害虫発生予報第3・4号\(石川県\)、](#)

[稲作情報No.11\(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月18日\)、平成26年農作物病害虫発生予察予報第5号\(福井県農業試験場\)、](#)

[平成26年農作物病害虫発生予察注意報第2号\(福井県農業試験場\)、病害虫防除だよりNo.282\(農業試験場病害虫防除室 7月25日\)](#)

[平成26年度作物技術普及情報第15号\(長野県松本農業改良普及センター 7月27日\)、病害虫発生予察注意報第2号\(長野県病害虫防除所 7月25日\)](#)

[平成26年度水稲生育診断情報No.3\(滋賀県農業技術振興センター 7月8日\)、平成26年度防除情報第3号\(滋賀県病害虫防除所 7月24日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予察予報第3号\(兵庫県病害虫防除所\)、平成26年度兵庫県農業気象技術情報第3号\(7月情報\)について\(兵庫県農政環境部 7月3日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予報第4号・植物防疫情報第2号、注意報第2号\(岡山県病害虫防除所\)、稲作ワンポイントアドバイス\(No.6\)\(JA長門大津・長門農林事務所 7月22日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予察情報注意報第2号\(広島農林水産局 7月25日\)](#)

[農作物病害虫発生予報7月\(山口県病害虫防除所\)、平成26年度農作物病害虫発生予察注意報第2号・第3号\(山口県 7月18日\)](#)

[気象情報に基づく技術対策・作物\(平成26年7月\)\(愛媛県 7月4日\)、病害虫発生予報\(6月\)\(愛媛県\)、病害虫発生予報\(7月\)\(愛媛県\)、](#)

[平成26年度水稲生育状況\(7月9時点\)\(高知県農業技術センター\)、福岡県米麦大豆生育情報\(福岡県農林業総合試験場 7月18日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予察第4号7月予報・技術情報第1号\(福岡県病害虫防除所 7月18日\)、](#)

[管内JAニュース\(JAグループ熊本ホームページ\)http://www.ja-kumamoto.or.jp\)、平成26年度病害虫発生予報第4号\(7月予報\)・技術情報第6号\(熊本県病害虫防除所\)、](#)

[平成26年産宮崎県早期米産地情報\(平成26年6月15日現在\)\(宮崎経済連ホームページ\)http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 7月4日\)、](#)

[平成26年度病害虫発生予報第4号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター\)、平成26年度病害虫発生予報第4号\(7月\)\(鹿児島県病害虫防除所\)](#)

エルニーニョ監視速報(No.262)(気象庁 地球環境・海洋部)

[北海道地方方向こう1か月の天候の見通し\(札幌管区気象台\)、](#)

[北陸地方方向こう1か月の天候の見通し\(札幌管区気象台\)、](#)

[北陸地方方向こう1か月の天候の見通し\(新潟地方気象台\)、](#)

[近畿地方方向こう1か月の天候の見通し\(大阪管区気象台\)、](#)

[中国地方方向こう1か月の天候の見通し\(広島地方気象台\)、](#)

[四国地方方向こう1か月の天候の見通し\(高松地方気象台\)、](#)

[九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し\(福岡管区気象台\)、](#)

[九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し\(鹿児島地方気象台\)](#)